

県内約100人の保健師が集結！災害時、保健師の受け入れをよりスムーズに 県内初！災害時保健師受援訓練を実施（2/18）

防災・減災日本一を目指す龍ケ崎市では、**災害時の保健師受け入れをスムーズに行うために「災害時保健師受援訓練」を平成31年2月18日（月）に実施**します。

本訓練は、既に策定している「龍ケ崎市受援計画」及び「龍ケ崎市災害時保健活動マニュアル」における災害時の行動計画を検証するもので、**市町村単位で災害時の受援体制を検証する訓練は県内初の取組み**となります。

本市においても、他自治体の被災時に保健師をはじめとする職員を積極的に派遣するなど支援を実施してきた経験上、被災時の受援体制の確立は必須であると認識し、本訓練を実施するものです。

本訓練では、大地震発生2日後を想定し、被災者の救護や避難所などで生活する健康管理のため、市災害対策本部が県内保健師へ派遣を要請。市災害対策本部の救護班と県内応援保健師約100名、保健所、医師会、消防署等の関係機関が連携して訓練に取り組みます。

平時から現場で活動している保健師が大規模災害時に自発的に応援保健師の活動を管理（マネジメント）することで、円滑な受援体制を整備します。

- 日 時 平成31年2月18日（月）午後1時から午後4時まで（雨天決行）
- 場 所 龍ケ崎市総合体育館（たつのこアリーナ）多目的室
（所在地：茨城県龍ケ崎市中里3丁目2番地1）
- 詳 細 本市からの要請を受けて、県内他市町村の保健師が龍ケ崎市に参集し、龍ケ崎市職員（市保健師）が龍ケ崎市内の被害状況や活動方針を伝達したうえで、運用計画に基づき人員をA・Bに振り分けて災害対応を行う。

A 避難所巡回グループ

各避難所を巡回し、避難所の衛生状況や避難者の健康状態を把握する。

B 福祉避難所常駐グループ

要配慮者が多く避難するコミュニティセンター等の福祉避難所に常駐し、避難者の救護及び健康管理を実施する。

各グループは、龍ケ崎市職員（市保健師）から活動の細部にわたる説明を受けて業務を開始する（今回の訓練ではオリエンテーションまでを実施）。医師会・保健所・龍ケ崎消防署・自衛隊等の関係機関は保健師の活動状況を総括する。

訓練終了後に意見交換を行い、必要に応じて計画や体制の改善を実施する。

- 参加者 龍ケ崎市職員（主に危機管理課・健康増進課）、龍ケ崎保健所、県内応援保健師（約100名程度参加）、龍ケ崎市・牛久市医師会、龍ケ崎市歯科医師会、龍ケ崎市薬剤師会、災害医療コーディネーター、地域災害医療コーディネーター、DHEAT、龍ケ崎警察署、龍ケ崎消防署、自衛隊
- 資 料 タイムスケジュール

担当課

龍ケ崎市危機管理課 危機管理政策グループ
担当者：橋原・寺田（きつはら・てらだ）
連絡先：0297-60-1514（直通）